

札幌市地質・土質調査業務共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和 8 年 10 月版	(旧) 令和 7 年 4 月版	備 考
札幌市地質・土質調査業務共通仕様書の改定について 令和 8 年 10 月 単価使用の委託業務から適用 ～本仕様書を使用される皆様へ～ 本仕様書は改訂する場合があります。改訂時には札幌市工事管理室ホームページ「工事管理室からのお知らせ」（下記アドレス参照）で改訂内容をご案内しますので、ご確認ください。 http://www.city.sapporo.jp/zaisei/kojikansa/osirase/osirase.html	札幌市地質・土質調査業務共通仕様書の改定について 令和 7 年 4 月 単価使用の委託業務から適用 ～本仕様書を使用される皆様へ～ 本仕様書は改訂する場合があります。改訂時には札幌市工事管理室ホームページ「工事管理室からのお知らせ」（下記アドレス参照）で改訂内容をご案内しますので、ご確認ください。 http://www.city.sapporo.jp/zaisei/kojikansa/osirase/osirase.html	日付変更

札幌市地質・土質調査業務共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和 8 年 10 月版	(旧) 令和 7 年 4 月版	備 考
1 総則 1-10 打合せ等 1. 受託者及び担当職員は、契約図書に示された指示、承諾、協議、検査及び確認等については、打ち合わせ簿（様式第 1-2 号）で行わなければならない。なお、打ち合わせ簿については、双方が署名または押印した原本を委託者が保管し、複製を 受託者 が保管するものとする。 2. ～ 6. （省略） 1-28 再委託 1. ～ 2. （省略） 3. 契約約款第 6 条第 2 項ただし書きに規定する「軽微な部分」とは、コピー、印刷、製本及び資料の収集・単純な集計をいい、受託者 はこの部分の再委託に当たっては、委託者の承諾を必要としない。 4. ～ 6. （省略） 1-30 守秘義務 1. ～ 2. （省略） 3. 受託者 は当該業務に関して委託者から貸与された情報、その他知り得た情報を 1-12 調査業務計画書に示す調査業務計画書の業務組織計画に記載される者以外には秘密とし、また、当該業務の遂行以外の目的に使用してはならない。 4. 受託者 は、当該業務に関して委託者から貸与された情報、その他知り得た情報を当該業務の終了後においても第三者に漏らしてはならない。 5. （省略） 6. 受託者 は、当該業務完了時に、委託者への返却若しくは消去または破棄を確実に行うこと。	1 総則 1-10 打合せ等 1. 受託者及び担当職員は、契約図書に示された指示、承諾、協議、検査及び確認等については、打ち合わせ簿（様式第 1-2 号）で行わなければならない。なお、打ち合わせ簿については、双方が署名または押印した原本を委託者が保管し、複製を 受託者 が保管するものとする。 2. ～ 6. （省略） 1-28 再委託 1. ～ 2. （省略） 3. 契約約款第 6 条第 2 項ただし書きに規定する「軽微な部分」とは、コピー、印刷、製本及び資料の収集・単純な集計をいい、受託者 はこの部分の再委託に当たっては、委託者の承諾を必要としない。 4. ～ 6. （省略） 1-30 守秘義務 1. ～ 2. （省略） 3. 受託者 は当該業務に関して委託者から貸与された情報、その他知り得た情報を 1-12 調査業務計画書に示す調査業務計画書の業務組織計画に記載される者以外には秘密とし、また、当該業務の遂行以外の目的に使用してはならない。 4. 受託者 は、当該業務に関して委託者から貸与された情報、その他知り得た情報を当該業務の終了後においても第三者に漏らしてはならない。 5. （省略） 6. 受託者 は、当該業務完了時に、委託者への返却若しくは消去または破棄を確実に行うこと。	文言変更 文言変更 文言変更 文言変更 文言変更

札幌市地質・土質調査業務共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和 8 年 10 月版	(旧) 令和 7 年 4 月版	備 考
7. 受託者は、当該業務の遂行において貸与された委託者の情報の外部への漏えい若しくは目的外利用が認められ、またはその恐れがある場合には、これを速やかに委託者に報告するものとする。 4 地質・土質に関する解析・設計 4-5 軟弱地盤技術解析 4-5-1 (省略) 4-5-2 業務内容 1. ～ 2. (省略) 3. 現況地盤解析 (1) ～ (2) (省略) (3) 地盤圧密沈下 設定された土質定数、荷重等の条件に基づき、地中鉛直増加応力を算定し、即時沈下量、圧密沈下量、各圧密度に対応する沈下時間を算定するものとする。 (4) (省略) 4. 検討対策工法の選定 当該地質条件、施工条件に対して、適用可能な軟弱地盤対策工法を抽出し、各工法の特性・経済性を概略的に比較検討の上、詳細な安定計算等を実施する対象工法を1つまたは複数選定するものとする。 5. ～ 7. (省略)	7. 受諾者は、当該業務の遂行において貸与された委託者の情報の外部への漏えい若しくは目的外利用が認められ、またはその恐れがある場合には、これを速やかに委託者に報告するものとする。 4 地質・土質に関する解析・設計 4-5 軟弱地盤技術解析 4-5-1 (省略) 4-5-2 業務内容 1. ～ 2. (省略) 3. 現況地盤解析 (1) ～ (2) (省略) (3) 地盤圧密_____ 設定された土質定数、荷重等の条件に基づき、地中鉛直増加応力を算定し、即時沈下量、圧密沈下量、各圧密度に対応する沈下時間を算定するものとする。 (4) (省略) 4. 検討対策工法の選定 当該土質条件、施工条件に対して、適用可能な軟弱地盤対策工法を抽出し、各工法の特性・経済性を概略的に比較検討の上、詳細な安定計算等を実施する対象工法を1つまたは複数選定するものとする。 5. ～ 7. (省略)	文言変更 文言追加 文言変更